

企画委員会より、フェスタの名前も決定！少しずつ選曲案も見えてきました！

2月11日に行われた全国実行委員会で「メイン企画を2回に分けたい！」と提案をして、3月4日の東京実行委員会では「フェスタ 1、フェスタ 2」にすることで確認をして、この間複数回の企画委員会・企画事務局会議を行いながら、企画の具体化を進めてきました。それぞれのフェスタを「Human Festa～いのちをうたおう～」 「Peace Festa～こころをつなごう～」と名付け、各ステージでの話し合いも具体的な選曲が出てきました。まだ確定ではないですが、下記の表を参考に、イメージを膨らませてください。

Human Festa ～いのちをうたおう～

No.	テーマ	企画スケッチ	曲目候補★あくまで検討中です	人数規模(案)
1	OP	親子・女性の合唱で高らかに元気に	「約束のうた」	1500
2	女性	子どもたちの歌声にこたえて 築地市場移転反対 「築地女将さん会」との連帯	「いとし子よ」 「私は築地の女将です」 (2019バージョン)	750
3	労働者	全厚生・JAL・IBM「解雇3兄弟」を 「勝利3兄弟」へ！ 非正規の闘いへの連帯、 保育・教育合同も検討中？	全厚生「お父さんの背中」 JAL「翼よ高く輝け」 IBM「私はここに立つ」など 保育合同でダンスも？	750
4	高齢者	老後の保障など年金者の要求、 戦争を経験した世代からの発信も	「世直し音頭」など検討中	750
5	親子	全国に広がっている「ぞうれっしゃ」、 大規模な親子合唱を。	「ぞうれっしゃよはしれ」 「ぞうさん来い」「メッセージ」 「平和とぞうと子どもたち」	750
6	障害者	作業所とうたごえ祭典 交流40年の蓄積。 生きる喜び、働く喜びの表現を	「この歌を」など	500
7	青年	青年・学生の「不安」「葛藤」 つながることの大切さを訴えたい	「つなぐ-kokoronote-」など	500
8	反ヘイト	外国人や、LGBTへの差別・ヘイトにNO！ 多様性を認め合い、共生を目指す	「いのちをうたおう」など	会場全体
9	フィナーレ		選曲・演出検討中	

Peace Festa ～こころをつなごう～

No.	テーマ	企画スケッチ	曲目候補★あくまで検討中です	人数規模(案)
1	OP	東京・関東のうたごえによる歓迎演奏	「母なる故郷」?	500
2	基地・沖縄	沖縄の闘いと連帯して、 東京や全国の 基地被害も訴える エイサーとのコラボも？	「帰れ帰れ」 (二本松はじめさん創作) 「沖縄を返せ」 (横田・麻布の替歌も) 沖縄からのメッセージ	1250
3	原発・福島	福島を忘れない、原発ゼロ、 自然エネルギーへの転換を 世界の脱原発のうねりと共に	福島からのメッセージ 原発立地県での大合同 脱原発を実現した 台湾から「子どもの大空」	1250
4	戦争反対 空襲	戦争被害を忘れない。 空襲・戦争の記憶を次の世代に。 「全国空襲連」との連帯。	「燃える川」より序章も？ 全国の仲間と歌える 曲目を模索中	1250
5	核兵器禁止	核兵器禁止条約へ 日本政府も参加を！ ヒバクシャ国際署名をさらに広げよう！	うたごえミュージシャンによるリードで 会場全体で歌い交わしたい。	会場全体
6	全国合同	ニューアレンジ 「みんなのうた」から	「原爆を許すまじ」「抱きしめよう」 「町」	1250
7	フィナーレ		選曲・演出検討中	

高齢者実行委員会立ち上がる！

生憎の天気の中、3月21日、豊島区東部区民事務所において、9団体19名の参加で第一回高齢者実行委員会を開催しました。祭典成功に向けて、実行委員長、事務局長、財政担当を選出し、体制を確認しました。(企画、組織、宣伝担当も随時、選出予定) 企画の提案を受けて、実際に何曲も皆で歌ってみました。その結果、「花」(春のうらの～♪)「世直し音頭」「空より高く」の3曲を候補曲としてしぼり、各合唱団に持ち帰って意見を集約することにしました。(祭典運営委員：荻野美子さんより)

現場で歌い、基地反対のステージ相談会！

3月18日、毎月第3日曜日に行われている横田基地撤去を求める座り込み行動に、三多摩のうたごえ(三多摩青年合唱団、絹の道合唱団)と、同じく地元麻布へり基地を抱えるみなとのうたごえ(みなと合唱団、港新婦人コスモスコーラス)が参加し、休憩時間のうたごえで参加者と連帯しました。二本松はじめさんが創った「帰れ帰れ」も実際に歌いながら反応を感じて、その後は基地ステージの相談会。沖縄としっかり意見交換をすることや、関東との連携を大切にしようということが確認されました。

福島のうたごえと相談会

3月25日、全国協議会東北ブロック常任委員の木村泉さんと企画委員長が福島を訪問。「原発ゼロのステージ」について相談会を持ちました。「東京など大都市の発展のために地方に危険が押し付けられる、米軍基地と根っこは同じ」など、想いを聞きながら、福島の創作曲なども歌って選曲や、ステージの構想も具体化が進んできました。